

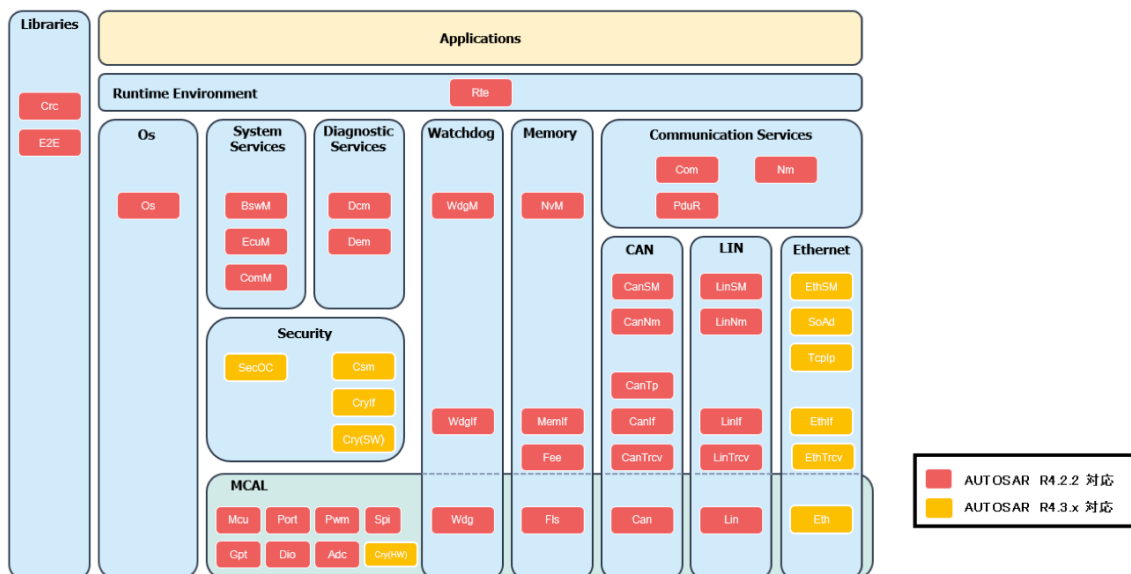
2017年11月15日
APTJ株式会社

AUTOSAR 準拠のソフトウェアプラットフォーム Julinar SPF の 先行販売を開始

【発表内容】

APTJ株式会社(以下、APTJ)は、AUTOSAR仕様準拠のソフトウェアプラットフォーム(広い意味でのOS、以下SPF)であるJulinar SPFの先行販売を開始することになりました。Julinar SPFの先行販売は、6社のパートナーソフトウェア企業(株式会社ヴィッツ、キヤノンITソリューションズ株式会社、株式会社サニー技研、東海ソフト株式会社、富士ソフト株式会社、菱電商事株式会社(五十音順))を通して行います。

APTJでは、2015年9月の設立から3年間の計画で、AUTOSAR仕様に準拠した車載制御システム向けのSPFの開発を進めています。開発を進めているBSWモジュールを図に示します。これらのBSWモジュールおよびRTEジェネレータで構成されるJulinar SPFの正式販売は、2018年9月の開始を予定していますが、開発成果の活用を早期に開始して頂くために、この度、先行販売を開始することとなりました。



開発中／提供予定の BSW モジュール

APTJでは、AUTOSAR準拠のSPFを活用いただくには、単にソフトウェアを提供するだけでは不十分と考えており、パートナーソフトウェア企業との協力により、充実したサポートサービスや支援ツールを提供する準備を進めています。Julinarのサポートサービスとしては、AUTOSARに関わるコンサルティング、技術者のトレーニング

(個々のニーズに特化した長期研修を含む)、インテグレーション支援、質問対応(ホットライン)、SPF のポーティングやカスタマイズ、開発環境の構築支援や開発支援ツールの開発、アプリケーション開発支援、機能安全対応支援などを考えています。

なお、APTJ では、11 月 30 日(木)に名古屋において、APTJ における AUTOSAR への取り組み状況と、機能安全規格や車載セキュリティなどの業界動向をご紹介するために、「APTJ カンファレンス 2017 名古屋」を開催します。詳細については、APTJ のウェブサイト <http://www.aptj.co.jp/conference.php> に掲載しておりますので、そちらを参照くださると幸いです。

【APTJ の概要】

APTJ 株式会社(所在地:名古屋市中村区、代表取締役会長:高田広章、代表取締役社長:高嶋博之、以下 APTJ)は、名古屋大学の研究開発成果を活用して、車載制御システム向けのソフトウェアプラットフォーム(SPF)の開発・販売を目指す名古屋大学発のベンチャー企業です。名古屋大学では、情報学研究科附属組込みシステム研究センター(NCES、センター長:高田広章)において、車載制御システム向けの SPF に関する研究開発を産学連携体制で推進してきました。

車載制御システム向けの SPF の分野においては、欧州を中心に策定されている AUTOSAR 仕様が国際標準として広く活用されつつあります。AUTOSAR 仕様準拠の SPF の開発・販売においては、海外企業が先行し、シェアを伸ばしています。APTJ は、それに対抗できる国産の SPF を開発・販売することを目指して、2015 年 9 月に設立しました。APTJ の代表取締役会長兼 CTO には、NCES センター長/教授の高田広章が就任しています。

Julinar は、APTJ が開発する SPF およびそれに関連するサービスの名称です。Julinar SPF は、AUTOSAR 仕様に準拠しつつ、名古屋大学の研究開発成果や知見を活用した先端的な機能や実装技術により、機能安全規格、サイバーセキュリティ対策、マルチコアプロセッサに効率的に対応できることを目指しています。Julinar SPF を活用することで、安全で品質の高い車載組込みソフトウェアの開発が効率化され、自動車部品メーカーの競争力向上につながります。



APTJ による SPF の開発は、パートナーソフトウェア企業からの資金面・人材面の協力を得て、自動車部品メーカーおよび自動車メーカーと共同で進めています。また、サポート体制の構築や支援ツールの開発についても、パートナーソフトウェア企業各社と密接に連携して進めています。

さらに将来的には、自動運転システム向けの SPF 仕様として AUTOSAR が策定中の AUTOSAR Adaptive Platform 仕様に基づいた SPF の開発や、セキュリティ対策の強化により IoT や Connected Vehicle の流れにも対応するなど、車載制御システム向け SPF の分野において、国際的なトップクラス企業に成長させることを目指していま

す。

APTJ は、これらの活動を通じて、我が国の車載組込みソフトウェア産業を強化し、さらには自動車産業全体の競争力向上に貢献したいと考えています。

【お問い合わせ先】

本発表に関するお問い合わせは、以下にお願いします。

APTJ 株式会社

〒453-6122 名古屋市中村区平池町四丁目 60 番地 12

グローバルゲート 22 階

Phone: 052-564-5535 FAX:052-564-5536

Email: contact@aptj.co.jp

【用語説明】

SPF	ソフトウェアプラットフォーム(Software PlatForm)。計算機システムの中でアプリケーションソフトウェアを実行するための基盤となるソフトウェア。広い意味での OS のこと。
AUTOSAR	AUTomotive Open System ARchitecture。車載制御システム向けのソフトウェア基盤のグローバルな業界標準を作成する団体。2003 年に設立され、欧州を中心に活動。AUTOSAR 仕様に基づいた SPF は、すでに欧州の自動車メーカーには広く採用されており、今後、国内の自動車メーカーにおいても採用が広がるものと予想されている。
BSW モジュール	Basic SoftWare モジュール。AUTOSAR 仕様の SPF を構成する各種のソフトウェアモジュール(ミドルウェア、デバイスドライバ、狭い意味での OS)を総称して、BSW モジュールと呼ぶ。
RTE ジェネレータ	RunTime Environment ジェネレータ。AUTOSAR において、BSW モジュール群とアプリケーションソフトウェアコンポーネントのインタフェースを行うソフトウェアを RTE (RunTime Environment)と呼び、RTE を生成するソフトウェアが RTE ジェネレータである。
NCES	名古屋大学大学院情報学研究科附属組込みシステム研究センター(Nagoya university Center for Embedded computing Systems)。産学官連携により、組込みシステム技術に関する研究開発と人材育成を推進するために 2006 年 4 月に設立。センター長は高田広章。